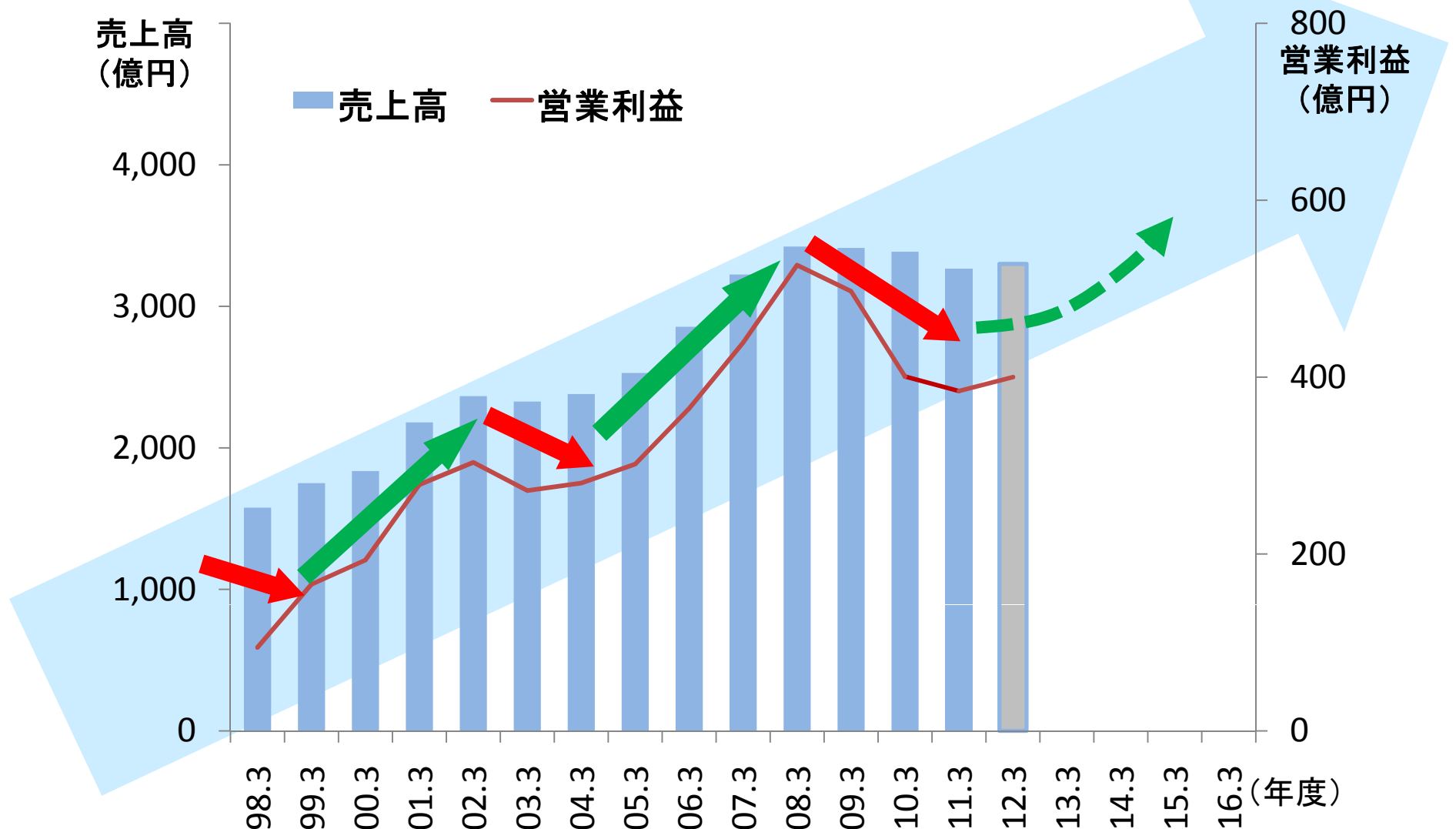

1. 2011年3月期決算について

2. 2012年3月期業績見通し

3. 中長期の成長に向けた重点施策

中長期の成長に向かって

- 上期は不透明な状態が続くものの、「成長軌道」への回帰に注力



中長期成長に向けた方針

ービジョン2015ー

金融関連分野のサービス高度化

- ▶ 業界横断的・市場横断的な
新世代ビジネスプラットフォーム拡大

産業関連分野の拡大

- ▶ 業界をリードする顧客の獲得、
得意とする業種・業務領域の拡大

中国・アジア事業の強化・拡大

- ▶ 中国・アジアに「第二のNRI」を

生産革命・人材開発

ー重点施策ー

STAR導入プロジェクトの着実な遂行

バンキング分野でのソリューション拡大

業務コンサル事業の拡充

コンサルの強みを活かしたアプローチによる
システムの新規顧客拡大、既存顧客の深耕

コンシューマ・インダストリを核とした顧客基盤拡大

日系企業のグローバル展開やグローバル
日系企業への支援強化

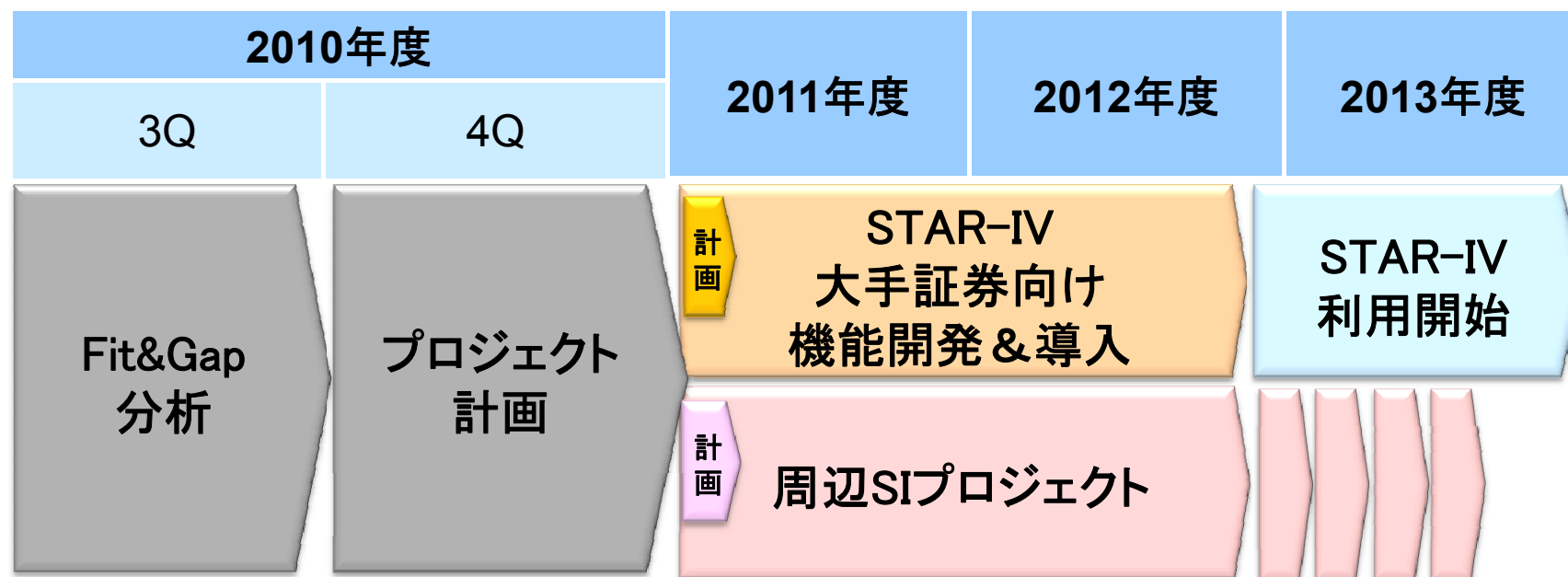
アライアンス推進等により事業基盤確立

高まる需要へ対応し、新DCの建築

人材育成推進

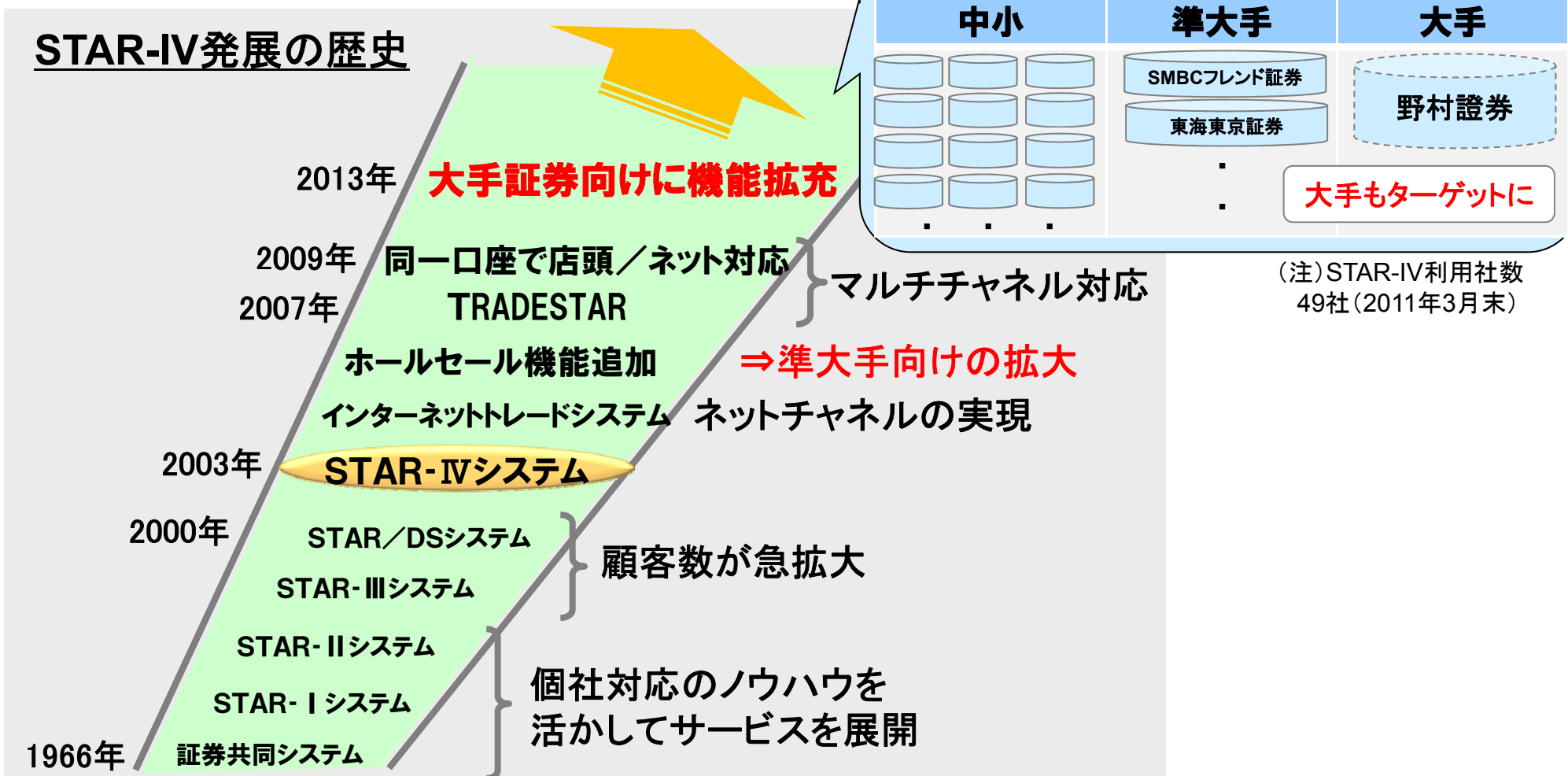
STAR導入プロジェクトの着実な遂行（1）

- 野村証券へのSTAR-IV導入プロジェクトが本格化
～分析・計画フェーズから追加機能開発・導入フェーズへ
～プロジェクトの着実な遂行による2013年初のリリースを目指す



STAR導入プロジェクトの着実な遂行 (2)

- 「STAR-IV・デファクトスタンダード化」に向けて積極的に投資
- その他大手証券もターゲットに



バンキング分野でのソリューション拡大

- **ソリューション拡大により新規顧客を獲得**
 - **地銀ネットバンキングやネット専業銀行勘定系をターゲットに**
 - **信託銀行向けに大規模プロジェクトも受注**

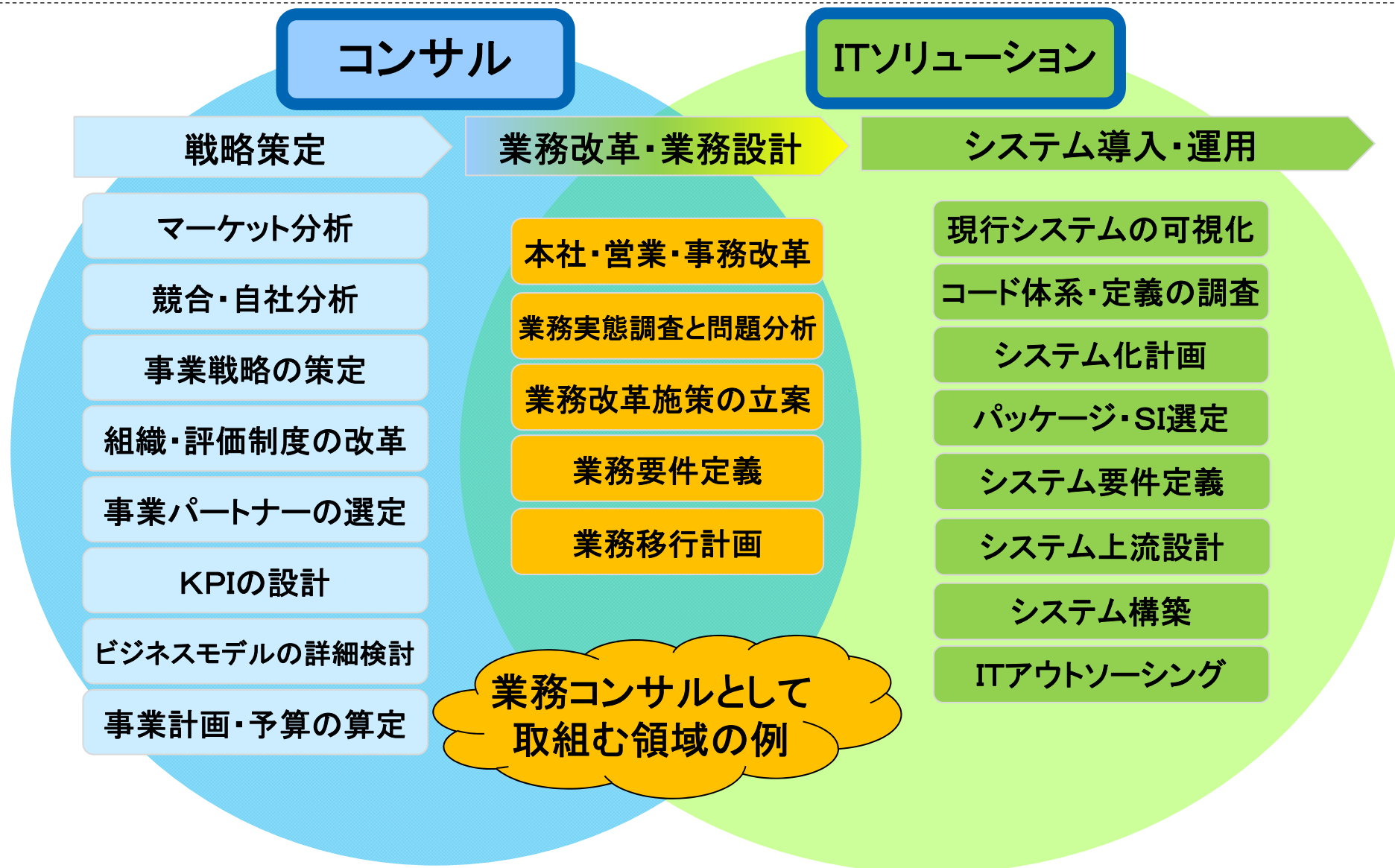


日本ユニシスと銀行向けビジネスで協業

- **インターネットバンキング**
NRIのインターネットバンキング共同運用サービス「ValueDirect」と、日本ユニシスの銀行基幹系システム群を機能連携させ提案
- **勘定系システム**
日本ユニシスが開発したオープン勘定系システム「BankVision®」および「BANKSTAR®」を活用した銀行向けのソリューションを両社共同で提案・導入

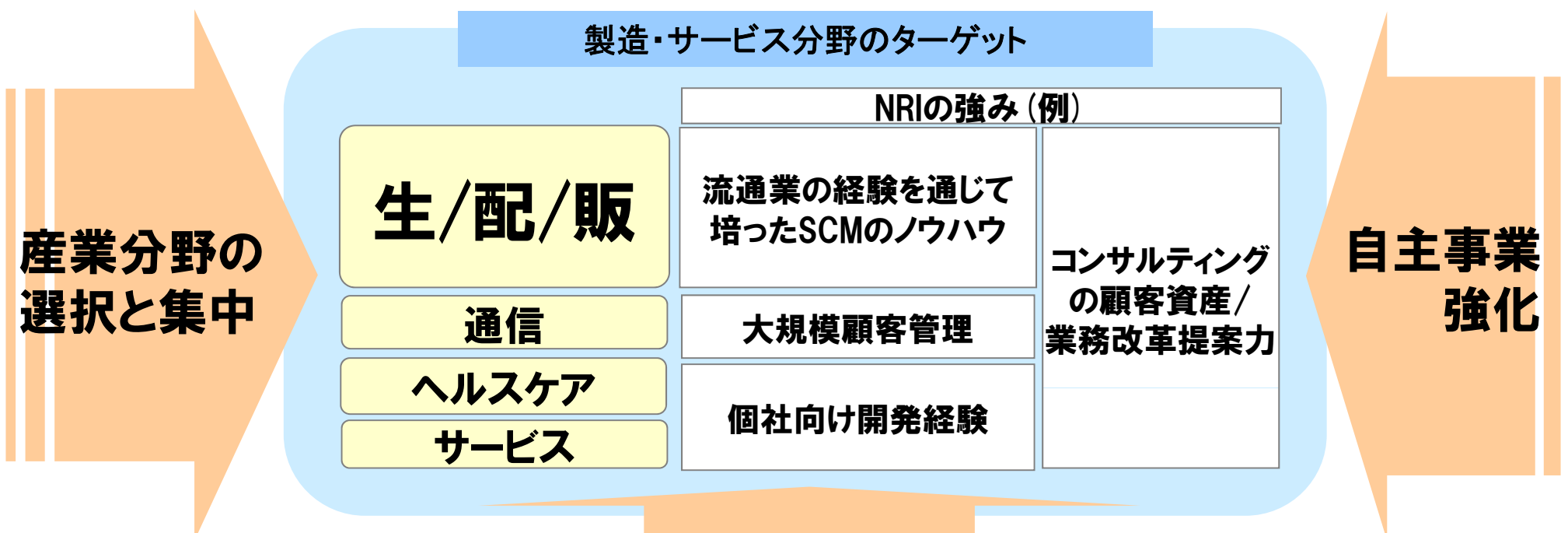
2011/2/5 日本経済新聞

業務コンサル事業の拡充



コンシューマ・インダストリを核とした顧客基盤拡大

- 産業分野はコンシューマ・インダストリ向けに選択と集中
- コンサルティングとシステムソリューションのシナジーを活かしてアプローチ



プライムアカウント戦略

「戦略～業務～IT」の課題全体を捉え、大型IT提案を仕掛ける

コンサル
×
ITソリューション

中国・アジア事業の強化・拡大

● アジア・中国に「**第二のNRI**」を築く事を目標に

【コンサルティング事業】

- 1 現地法人4支店を事業展開
 - NRI上海でのコンサルビジネスは好調
 - **新たにインド拠点の設立検討**
- 清華大学と共同で、中国研究センター設立
 - 中国でのNRIブランド構築にも貢献

【ITソリューション事業】

日系企業の進出支援の積極展開
アライアンスの活用

- セブン&アイ関連の海外展開をサポート
 - 中国（北京、成都、等）
 - インドネシア
- グローバルSCMソリューションの提供
- 三菱商事との合併事業（iVision社）：上海
- BPO事業の強化： NRI大連



アライアンス推進による事業基盤確立

●事業拡大の手段のための事業提携・資本提携は、積極的に推進

中国・アジアソリューション事業の拡大

- ・ 中国・アジアのITマーケットを熟知し足場をもつ企業との提携を推進中
⇒ 出向やトレーニー派遣も行う
(例) **三菱商事**との合併会社のiVision

グローバルに展開する日系企業へソリューション提供

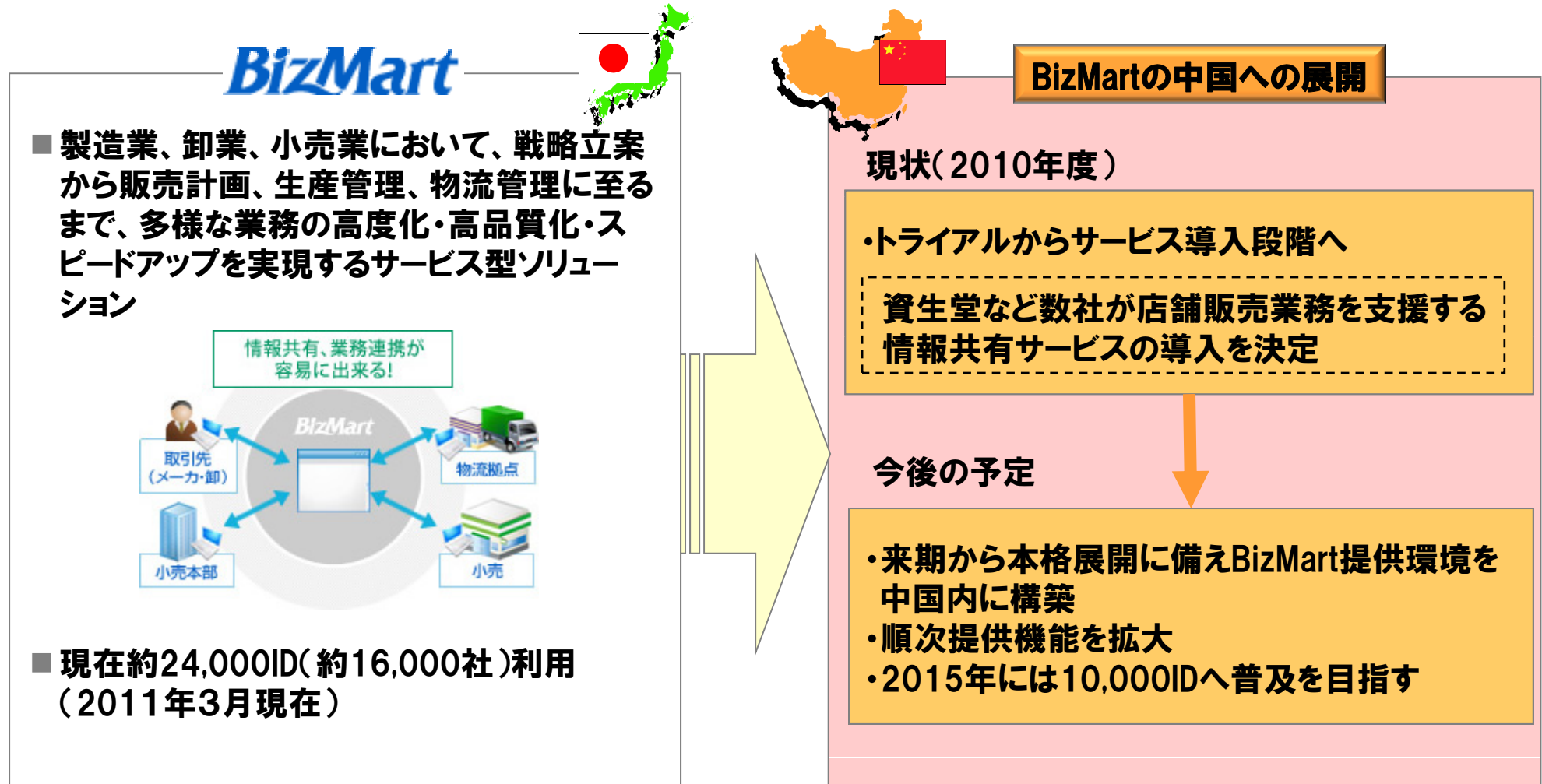
- ・ NRIソリューションのグローバル支援体制確立のため、**グローバルIT企業**または**ローカルIT企業**との**提携**を模索

国内ソリューション事業の拡大

- ・ 当社の強みとのシナジーを狙った多様なアライアンスを推進中
NRIの強み:「コンサル」、「金融」、「PM」、「基盤・運用」等
(例) バンキング事業の拡大に向けた、**ユニシス**との提携

中国・アジア事業の強化・拡大 最近の取り組み

●製造・卸・小売業向けソリューションBizmartを中国へ展開開始



高まるデータセンター需要への対応

●2013年3月期竣工予定の新データセンター

- 最先端の免震、制震技術を導入
- 高いエネルギー効率を実現(低PUE^(注) CASBEE^(注) Sランク相当)
- 最先端のグリーンITを活用し社会の環境負荷低減にも貢献



■安全性

- 最先端の免震、制震技術を導入
- 自然災害の低い立地
- 生体認証装置、3Dボディスキャナーなど高度なセキュリティ設備を導入

■環境性

- 自然換気やフリークーリング等自然エネルギーの最大利用
- 局所空調や高温送水等高効率設備機器を採用
- トップレベル事業所やCASBEE等各種環境基準に準拠

■信頼性

- 多重化された拡張性の高い電源システム
- 気流環境を最適化する空調設備を導入
- IT機器・設備の稼働状況にあわせ最適運転を実現するための制御機能

(注)PUE=Power Usage Effectiveness: データセンターの電力効率を示す指標

(注)CASBEE=建築物総合環境性能評価システム

-
- ・本資料は、2011年3月期決算の業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではなく、また何らかの保証・約束をするものではありません。
本資料に掲載されております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。
 - ・本資料のいかなる部分も一切の権利は野村総合研究所に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。